

経 時

福岡市開業 久 芳 陽 一

日本小児歯科学会九州地方会20周年、おめでとうございます。

昭和58年、第1回九州地方会を吉田福歯大名誉教授のもとでお手伝いしてから20周年の歳月がたったかと思うと考え深いものがあります。この時は、福歯大で学会・総会と懇親のソフトボール大会を行ったのを記憶しています。今のように便利な機器も設営業者の方もなく、前夜、遅くまで準備した手作りの学会でした。また、九州各講座の教授の先生方の凛々しいユニフォーム姿は今も目に焼きついています。ご縁があって、実行委員長を第11回九州地方会は本川教授のご指導のもと大学側として、第20回の本大会は開業医側として勤めさせていただきましたが、その間、社会環境は大きく変わりました。経済不況、少子化、医療費抑制、う蝕の減少などさまざまな問題点があります。

この先の10年間でどの様な変化が生じるか、現状を把握、未来へも目を向けなければなりません。

今後も小児歯科地方会が、30周年、40周年として更なる発展、飛躍していくことを会員の一人として祈念しております。

学会参加

佐世保市開業 樽 美 哲 生

学会創立20周年おめでとうございます。私は第2回昭和59年の九州歯科大学担当の時以来、今回まで1回も休まず出席しております。自分でもビックリです。これまで20年間、当時の五大学の教授の御苦勞は大変なものだったと思われまゝ。参加するだけの私にとっては、感謝の一言です。医局時代は当番医でない限り、学会に出席するのは当たり前であります。いざ開業致しますと、なかなか難しくなっています。何かを犠牲にし、優先順位を決めなくてはなりません。毎回悩みます。大学時代、医局時代と勉強に研究にと、何もしていなかったもので、逆に長続きしているのかもしれない。小児歯科医で開業していると、一般開業医と違って、共通な話題、悩み、喜びを持った仲間、年に一度会えるからでしょう。学会に出席できる環境を作る努力も必要でしょう。もちろん健康も一つです。学会の思い出は、多数ありますが、やはり佐世保で第15回大会を開催できたことでしょう。長崎大学と開業医の長崎小児歯科臨床医会が協力し、品川光春先生を準備委員長として盛會に終わることが出来、私大会会長としましては、私の人生において大変名誉なことでありまゝ。地方会が私にとって励みになり、不勉強な私を育てて戴き、また学会で多くの友人、知人が出来たことも、私の財産です。感謝申し上げます。